

2020.5.1

図書館だより

鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部
附属図書館

こんにちは！附属図書館です。本来ならば学生の皆さんの笑顔があふれるキャンパスですが、今年は残念ながら皆さんを見ることができません。しかし今は我慢の時。STAY・HOMEです。そんな今、読書に時間をかけてみてはいかがでしょうか。



5月の図書をご紹介します。

先生のおすすめ本 木之内 秀彦（国際地域学科）



383.8/H55

まずい、大味で大ざっぱ、チープでジャンクな不健康フード、脂肪分たっぷりのボリュームだけが取り柄、などなどとかく評判のよろしくないアメリカの食べ物。そうしたアメリカの料理・食べ物をアメリカの文化や風俗を語らせたなら当代一流の著者が、「なぜアメリカには発酵食品が少ないのか」、「どうしてアメリカの食は画一的なのか」、「アメリカの料理は本当にまずいのか」といった角度から、歴史的背景にまで辿って語るロードサイドエッセイの傑作。大著ながら軽快に読みこなせ、著者のアメリカ愛がじんわり伝わってくる。アメリカ料理だけでなく、アメリカを見る目も変わってくること請け合いの快著です。



【お知らせ】

図書館は10月1日開館予定です。開館予定は変更になることがあります。

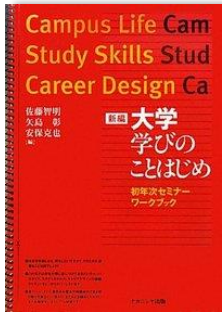
ホームページでお知らせをします。 <https://www.suzuka-iu.ac.jp/facilities/library.html>

電話番号 059-372-2121

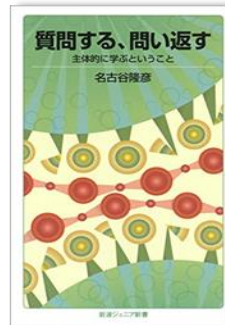


大学生活とその先

「STAY・HOME」の時間を内なる自分へと注意を向け、ぶれない視点を保ちましょう。この機会に何がしたいか、どう生きるか。しっかりと未来を見据え、後悔しない学生生活を送りましょう。



大学を卒業したら、何をしたいですか？ そのために必要なことは何でしょう？ 学生の間に身につけておきたいキャンパスライフ、スタディスキルズ、キャリアデザインの基礎リテラシーをしっかりとカバー。



一方通行の学びではなく、自ら問いを立て主体的に学ぶためには何が必要なのか、そもそも「考える」とはどういうことなのか？ 多くの学校現場を歩いてきた経験をもとに、主体的に学ぶことの意味を探る。

377.9/Sa8

375.1/N27



自立とはなんでしょう。ワーク・ライフ・バランス、労働法、雇用環境、働き方と働く場所……グローバルに考えながら、地域で働きたい人のために豊富なワークシートと図表を駆使して学ぶ最新テキストブック。



吉野源三郎による児童文学。第二次世界大戦前、15歳の男の子が大学を卒業した叔父のサポートを受けながら、「友情」や「貧富」、「差別」、「いじめ」、「勇気」など人生において避けられないテーマを追求し、「人間の価値とは何か」について探求している。困難な時代に人はどのように生きるのか。ジブリにより映画化。

377.9/D35

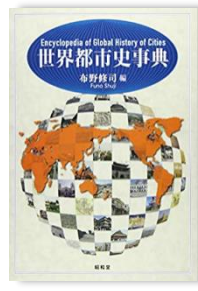
159.5/Y92

新着図書

ほかにも国際関係、教職関係図書が多数入荷しています。



209/H68



209/F86



290.9/C



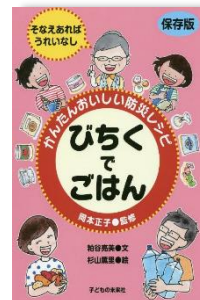
933/Su55



378/H84



490.15/Ko38



369.3//Ka79



411.1/Mi73